

- 問1 1873年に政府内で起こった征韓論をめぐる対立と、その後の自由民権運動へのつながりについて説明したものととして、最も適切なものはどれですか。 (2022年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 征韓論をきっかけに政府を離れた人々は、五箇条の御誓文を廃止し、江戸時代のような幕府政治への復帰を求める運動を始めた。 | 2. 征韓論の対立で敗れた勢力は、直ちに軍隊を組織して政府への武力抵抗である西南戦争を引き起こし、自由党を壊滅させた。 | 3. 征韓論を主張して政府を去った板垣退助らは、藩閥による専制政治を批判し、議会の開設を求める運動を始めた。 | 4. 征韓論に反対した大久保利通らが政府を離れ、欧米の政治制度を取り入れるために自由党を組織した。 |
|---|---|--|---|
-
- 問2 1871年に実施された廃藩置県により、明治政府は中央集権体制を確立しようとしてしました。この際、新たに設置された府や県を統治するために行われた措置として正しいものはどれですか。 (2025年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 各府県の住民による直接選挙を実施し、公選によって選ばれた代表者に統治を任せた。 | 2. 旧藩主をそのまま知事として世襲させ、各地域独自の法律による統治を認めた。 | 3. 地方の有力な士族の中から話し合いで選出された人物を、臨時の地方官に任命した。 | 4. 中央政府から直接任命された府知事や県令を現地に派遣し、行政を行わせた。 |
|--|---|---|--|
-
- 問3 1872年に公布された「学制」の目的や特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 個人の尊厳を重んじ、民主的な社会の形成者として必要な教育の基本を定めるために制定された。 | 2. 授業料をすべて国費でまかない、国民に金銭的な負担を一切かけずに義務教育を普及させようとした。 | 3. 天皇に対する忠誠や道徳の基準を示し、国民としての精神的な柱を確立することを主目的とした。 | 4. 身分や性別による区別をなくし、すべての国民が等しく小学校教育を受けることを目指した。 |
|---|---|---|---|
-
- 問4 明治時代初期、政府が推進した近代化政策によって人々の生活や社会の様子が大きく変化しました。当時の「文明開化」や「富国強兵」の様子について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 都市部を中心にガス灯やランプが普及し、レンガ造りの建物が建てられるなど、欧米の生活様式が取り入れられた | 2. 江戸時代からの伝統を守るため、新政府は西洋風の建築や新しい技術の導入を厳しく制限した | 3. 鉄道の開通を拒み、飛脚や馬車による伝統的な通信・交通網を全国で強化した | 4. すべての国民に兵役の義務を課す一方で、武士の特権であった帯刀や苗字の特権を維持させた |
|--|---|--|---|
-
- 問5 明治新政府が、それまでの太陰太陽暦を廃止して太陽暦を採用した背景や目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 藩ごとに異なっていた独自の暦を統一することで、中央集権的な軍事動員を容易にするため | 2. 古くから伝わる干支や暦の習慣を全国一律に禁止し、キリスト教を国教化するため | 3. 農業生産を向上させるために、月の満ち欠けに基づいた農作業の伝統を保護するため | 4. 欧米諸国と共通の基準を導入することで、近代国家としての体裁を整えるため |
|--|--|---|--|
-
- 問6 明治政府が岩倉具視を特命全権大使として欧米諸国へ派遣した使節団の、主な目的と活動内容を説明したものとして最も適切なものはどれか。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|--|
| 1. 日英同盟の締結に向けた軍事的な協力関係の構築と、最新兵器の導入検討 | 2. 開国を求める欧米諸国に対し、鎖国制度の維持を継続するための外交交渉 | 3. 下関条約の調印に向けた清との和平交渉と、領土割譲に関する最終確認 | 4. 江戸時代に結ばれた不平等条約の改正に向けた予備交渉と、先進的な制度や文化の視察 |
|--------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|--|
-
- 問7 九州地方の南端に位置する鹿児島県を拠点とし、かつて新政府の要職にありながら、朝鮮への開国を武力で迫る「征韓論」を巡る対立で下野した人物が指導者となった出来事について、正しい人物名と名称の組み合わせを選びなさい。 (2023年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------|-----------------|----------------|----------------|
| 1. 板垣退助 — 自由民権運動 | 2. 大久保利通 — 廃藩置県 | 3. 西郷隆盛 — 西南戦争 | 4. 江藤新平 — 佐賀の乱 |
|------------------|-----------------|----------------|----------------|
-
- 問8 井原西鶴や近松門左衛門が活躍した時代は、当時の元号から「元禄文化」と呼ばれます。しかし、明治時代になると元号の制度が大きく変わり、現代まで続く運用のルールが定められました。明治以降の元号の決め方について述べた説明として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|--------------------------------|--|-----------------------------------|
| 1. 朝廷が授ける「官位」の名称そのまま元号として用いるようになった | 2. 天皇一人の在位期間中、元号を一つに限定するようになった | 3. 亡くなった天皇を称える「諡（おくりな）」を、そのまま存命中の元号とした | 4. 優れた功績を挙げた政治家の「姓名」から元号を選ぶようになった |
|------------------------------------|--------------------------------|--|-----------------------------------|
-
- 問9 1873年から実施された地租改正において、それまでの年貢（租税）の制度と大きく異なる点として正しい説明はどれですか。 (2026年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 村全体で一括して税を納める仕組みを廃止し、収穫量の3パーセントを基準として米で納めるようになった。 | 2. 身分によって税率が異なる仕組みを廃止し、全ての国民が所有する農具や家屋の数に応じて現金で納めるようになった。 | 3. 土地の面積のみを基準とする仕組みに変わり、収穫した米を直接政府へ納める物納の制度が強化された。 | 4. 豊作や凶作によって変動する収穫量を基準にするのではなく、土地の価値である地価を基準とし、現金で納めるようになった。 |
|--|---|--|--|
-
- 問10 明治維新における三大改革の一つとして、1872年に出された「学制」が果たした役割や特徴について述べたものとして、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|---|--|---|
| 1. 戦時下において国民の生活や労働力を政府が統制し、戦争遂行を優先させた | 2. 一定の年齢に達した男子に兵役の義務を課し、近代的な軍隊を組織しようとした | 3. 25歳以上のすべての男子に選挙権を認め、議会政治の基盤を整えようとした | 4. すべての国民に教育を受けさせることで、近代社会を支える国民を育成しようとした |
|---------------------------------------|---|--|---|
-
- 問11 新橋・横浜間の鉄道が開通した1872年に、政府が公布した「学制」の内容や方針として最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2016年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 国家が教育費のすべてを負担し、教科書を無償で配布することを決定した | 2. 身分や男女の区別なく、すべての国民が小学校教育を受けることを目指した | 3. 天皇への忠誠や愛国心を育てることを教育の最優先事項として定めた | 4. 各藩が運営していた藩校をそのまま存続させ、士族の英才教育を強化した |
|--------------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|
-
- 問12 1868年に日本で明治維新が始まった時期に、世界で起こっていた主な出来事として、時期が最も近いものはどれですか。 (2019年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|----------|-----------|
| 1. 南北戦争 | 2. アヘン戦争 | 3. ロシア革命 | 4. フランス革命 |
|---------|----------|----------|-----------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 征韓論を主張して政府を去った板垣退助らは、藩閥による専制政治を批判し、議会の開設を求める運動を始めた。	征韓論をめぐる対立（明治六年の政変）で政府を去った板垣退助や後藤象二郎らは、一部の有力な藩出身者が権力を独占する「有司専制（藩閥政治）」を批判しました。彼らは言論によって政府を動かそうと考え、民撰議院設立建白書を提出したことが自由民権運動の始まりとなりました。この流れの中で、板垣を党首とする自由党などの政党が結成されました。
問2	答え 4 中央政府から直接任命された府知事や県令を現地に派遣し、行政を行わせた。	明治政府は、それまでの藩を廃止して府と県を置く「廃藩置県」を断行しました。これに伴い、旧藩主が地方を治める仕組みを改め、政府が直接任命した官吏である「府知事」や「県令」を中央から派遣することで、全国の情報を政府が把握し、命令を直接行き渡らせる中央集権的な統治体制を築きました。なお、住民による直接選挙（公選知事）が導入されるのは、第二次世界大戦後の日本国憲法下の改革を待つことになります。
問3	答え 4 身分や性別による区別をなくし、すべての国民が等しく小学校教育を受けることを目指した。	学制は、それまでの身分に応じた教育ではなく、個人の立身出世が国家の発展につながるという考え方（実学重視）に基づき、すべての子供に教育の機会を与えようとしていました。なお、当時の授業料は家族の負担であったため、生活の苦しさから反対一揆が起こることもありました。天皇への忠誠を強調したのは1890年の教育勅語、個人の尊厳を掲げたのは1947年の教育基本法です。
問4	答え 1 都市部を中心にガス灯やランプが普及し、レンガ造りの建物が建てられるなど、欧米の生活様式が取り入れられた	明治政府は欧米の進んだ技術や制度を積極的に導入しました。これを文明開化と呼び、都市部ではガス灯の設置やレンガ造りの建築といった外見上の変化だけでなく、太陽暦の採用や教育制度（学制）の整備、徴兵令による富国強兵など、社会の仕組みそのものが大きく変化しました。
問5	答え 4 欧米諸国と共通の基準を導入することで、近代国家としての体裁を整えるため	明治維新期の改革は、欧米の先進的な制度を取り入れることで日本が近代国家であることを内外に示し、不平等条約の改正などを有利に進める狙いがありました。暦の改正は「文明開化」の象徴的な出来事の一つであり、国際的な基準に合わせることで外交や貿易、交通の利便性を高める目的がありました。また、当時の政府にとっては、旧暦のままでは必要だった「閏月（うるづき）」による余分な月給の支払いを回避できるという財政上の利点も背景にありました。
問6	答え 4 江戸時代に結ばれた不平等条約の改正に向けた予備交渉と、先進的な制度や文化の視察	岩倉使節団は、明治政府が直面していた江戸時代の不平等条約の改正を大きな目標として掲げていました。交渉自体は日本の法整備が不十分であることを理由に難航しましたが、欧米の政治、経済、教育などの進んだ実態を直接視察したことは、その後の日本の近代化（文明開化）に極めて大きな影響を与えました。
問7	答え 3 西郷隆盛 ― 西南戦争	征韓論に敗れて鹿児島へ帰郷していた西郷隆盛が、私学校の生徒らに推される形で政府軍と戦いました。日本全図において九州の南部に位置する鹿児島がこの反乱の拠点となりました。
問8	答え 2 天皇一人の在位期間中、元号を一つに限定するようになった	江戸時代までの日本では、大きな火災や飢饉などの厄払いや、おめでたい出来事を理由に、天皇が交代しなくても元号を変えることが一般的でした。明治政府はこの慣習を改め、明治という元号を天皇の生涯にわたって継続させる「一世一元の制」を採用しました。これにより、元号が単なる年数のカウントではなく、特定の天皇の治世を示す象徴としての意味を強めることになりました。
問9	答え 4 豊作や凶作によって変動する収穫量を基準にするのではなく、土地の価値である地価を基準とし、現金で納めるようになった。	明治政府は、政府の収入を安定させるために地租改正を行いました。江戸時代の年貢は収穫量に応じて変動する「米による物納」でしたが、この改革によって、土地の価格である「地価」を課税基準とし、天候などの影響を受けない「現金による金納」へと改められました。これにより、政府は毎年の予算を立てやすくなりました。
問10	答え 4 すべての国民に教育を受けさせることで、近代社会を支える国民を育成しようとした	明治政府は、フランスの教育制度などを参考に学制を定めました。「必ず邑（むら）に不学の戸なく、家に不学の人なからしめん」という理想を掲げ、個人の能力を引き出すことが国力の向上に直結すると考えたためです。選択肢にある兵役に関するものは徴兵令、25歳以上の男子への選挙権は普通選挙法、戦時下の統制は国家総動員法に関する記述です。
問11	答え 2 身分や男女の区別なく、すべての国民が小学校教育を受けることを目指した	学制は「村に不学の戸なく、家に不学の人なからしめん」という理念のもと、国民全員に教育を普及させようとしたものです。これは富国強兵や殖産興業を支える人材を育成する目的がありました。当時はまだ授業料が家庭負担であったため、生活が苦しい農民などによる反対運動も起こりましたが、近代化の重要な一歩となりました。
問12	答え 1 南北戦争	アメリカ合衆国で奴隷制や貿易政策をめぐる起こった南北戦争は1861年から1865年の出来事であり、日本の明治維新（1868年）とほぼ同時期です。フランス革命は18世紀末（1789年～）、アヘン戦争は1840年、ロシア革命は20世紀初頭（1917年）であり、それぞれ時期が異なります。